

中山間地域で「森を育て土を耕し山を守る」矢野博正・里子夫妻の生き方

☆林業経営

☆高知県梶原町

- ① 作業道をつくり、木を育て、伐り、搬出する。
- ② 担い手育成と若者の雇用の場を確保する。
- ③ 架線技術が卓越しており道路等土木事業や電線下支障木伐採の依頼が四国内各地からある。
- ④ 端材はベレット工場へ持ち込む・1トン当たり8,800円の収入。

☆平成7年に梶原町林産企業組合「ゆうりん」を立ち上げる。・時給 1,700円
 ・全国に例のない「フリータイム制を創設」
 ・自由に自分の時間で働くことができるため農林業の複合経営ができる。現在6名

年中切れ目のない働き方ができる

高知県と愛媛県の県境



矢野博正(67)・里子(63)夫妻

楽しんで山に入る

☆農業経営

- ① 清流四万十川源流域で棚田米をつくる
面積 0.25ha
- ② ハウスで小なす栽培
面積 0.11ha
他栽培面積 0.14ha

独自の土づくり、管理で毎年最優秀賞

収支を計算しきちんとした経営を行えば損はしない。技術があれば仕事は永遠。

矢野博正・里子夫妻の生き方は、まちづくりそのもの

☆森は植物の宝庫

命の水を育む

☆小水力発電によりエネルギーをつくる

☆昼間は学校の電気に夜は町中の街路灯に

☆森のようちえん

☆間伐等の森林整備

環境財

生産財

☆矢野博正・里子夫妻の生き方は循環型社会
 ☆林業年収 約5百万円
 ☆農業年収 約3百万円
 合計年収 約8百万円

☆森は循環しながら生き続ける

☆公共施設・個人住宅への木材利用

柱材・板材

端材はベレット工場へ

焼却灰は土づくりへ

☆小なす等ハウス栽培

☆棚田で米づくり